

学科 学年	M1 C1 D1	科目 分類	古典 Classical Japanese	講義 必修	後期 1履修 単位	学習教育 目標 1 A～E	担当	三澤 洋子 Misawa Yoko
概要	まず、国語に大きな影響を及ぼした漢文の読解力を付ける。次いで、古典文学の規範である平安時代の物語文学の中から、初期の「竹取物語」を中心に、古典読解の基礎力を養う。さらに近世文学より「奥の細道」を読む。以上の学習を通じてわが国の文学的伝統を理解し、豊かな教養を養い、より広い考察力を身に付ける。							
科目目標 (到達目標)	(1) 古文の読解力を養う。(2) 漢文の読解力を養う。(3) 古典の知識をつける。							
教科書 器材等	プリントによる教材							
評価の基準と 方法	2回の定期試験を中心に平素の学習状況から習熟達成度をみる。							
関連科目	1学年から4学年までの各国語							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回								
第2回								
第3回								
第4回								
第5回								
第6回								
第7回								
第8回								
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回								
第15回								
第16回		「狐借虎威」「朝三暮四」	漢文訓読・解釈・鑑賞					
第17回		「漱石枕流」「守株」	漢文訓読・解釈・鑑賞	漢文と日本文学の関わり				
第18回		「混沌」「杞憂」	漢文訓読・解釈・鑑賞	日本への影響				
第19回		『今昔物語集』『狼と母牛』(一)	音読・かなづかい					
第20回		〃〃(二)	解釈・鑑賞・係り結び					
第21回		『竹取物語』『かぐや姫誕生』	音読・解釈・鑑賞・用言の用法					
第22回		〃〃「大伴の大納言と竜の首の玉」	音読・解釈・鑑賞・用言の用法					
第23回	×	定期試験						
第24回		『竹取物語』『かぐや姫の嘆き』	音読・解釈・鑑賞・助動詞の用法					
第25回		〃〃「かぐや姫昇天」(一)	音読・解釈・助動詞の用法					
第26回		〃〃(二)	音読・解釈・敬語の用法					
第27回		〃〃(三)	鑑賞・敬語の用法・和歌の技巧					
第28回		『奥の細道』『旅立ち』	音読・解釈・鑑賞					
第29回		〃〃「平泉」	音読・解釈・鑑賞					
第30回	×	定期試験						
オフィス アワー	出勤日の昼休み時間、非常勤講師室に在室。							
アンケート対応								
備考	教材は変更することもある。							
更新履歴								